

【渋滞】

令和元年度 第2回 富山県道路安全・円滑化検討委員会

渋滞関係 説明資料

— 目 次 —

- | | | |
|---------------|-----------|-----|
| 1. これまでの検討経緯 | ・ ・ ・ ・ ・ | P 1 |
| 2. 関連施策の紹介 | ・ ・ ・ ・ ・ | P 4 |
| 3. 今後の進め方について | ・ ・ ・ ・ ・ | P10 |

令和2年3月

1. これまでの検討経緯

(1) 検討委員会の議論のポイント

過年度の主な検討経緯

- ・ 平成24年度 主要渋滞箇所公表
- ・ 平成25年度 渋滞対策基本方針(案)の議論
- ・ 平成26年度 渋滞対策基本方針の策定
- ・ 平成27～28年度 モニタリング結果、対策の実施状況及び効果検証、解除方針案の提案
- ・ 平成29年度 主要渋滞箇所の見直し・ピンポイント渋滞対策の実施(国道8号江尻高架橋接続部)
- ・ 平成30年度 施策紹介(能越道料金変更に伴う交通状況の変化、交通アセスメントの取組事例)
・ ピンポイント渋滞対策の実施(国道8号安楽寺西交差点)

沿道環境等の変化

道路・交通網の整備等

大型店舗出店

道路利用者のご意見

最新交通データ(ETC2.0等)

前回(R1.7)の議題

① 主要渋滞箇所の見直し

- ・ 渋滞状況のモニタリング
- ・ 主要渋滞箇所の解除・追加箇所の見直し

② ピンポイント渋滞対策の推進

- ・ 国道8号四屋交差点

③ 関連施策の紹介

- ・ 能越自動車道の料金変更に伴う交通状況
- ・ 富山市街地における混雑状況
- ・ 道路交通アセスメントの取り組み

今回の議題

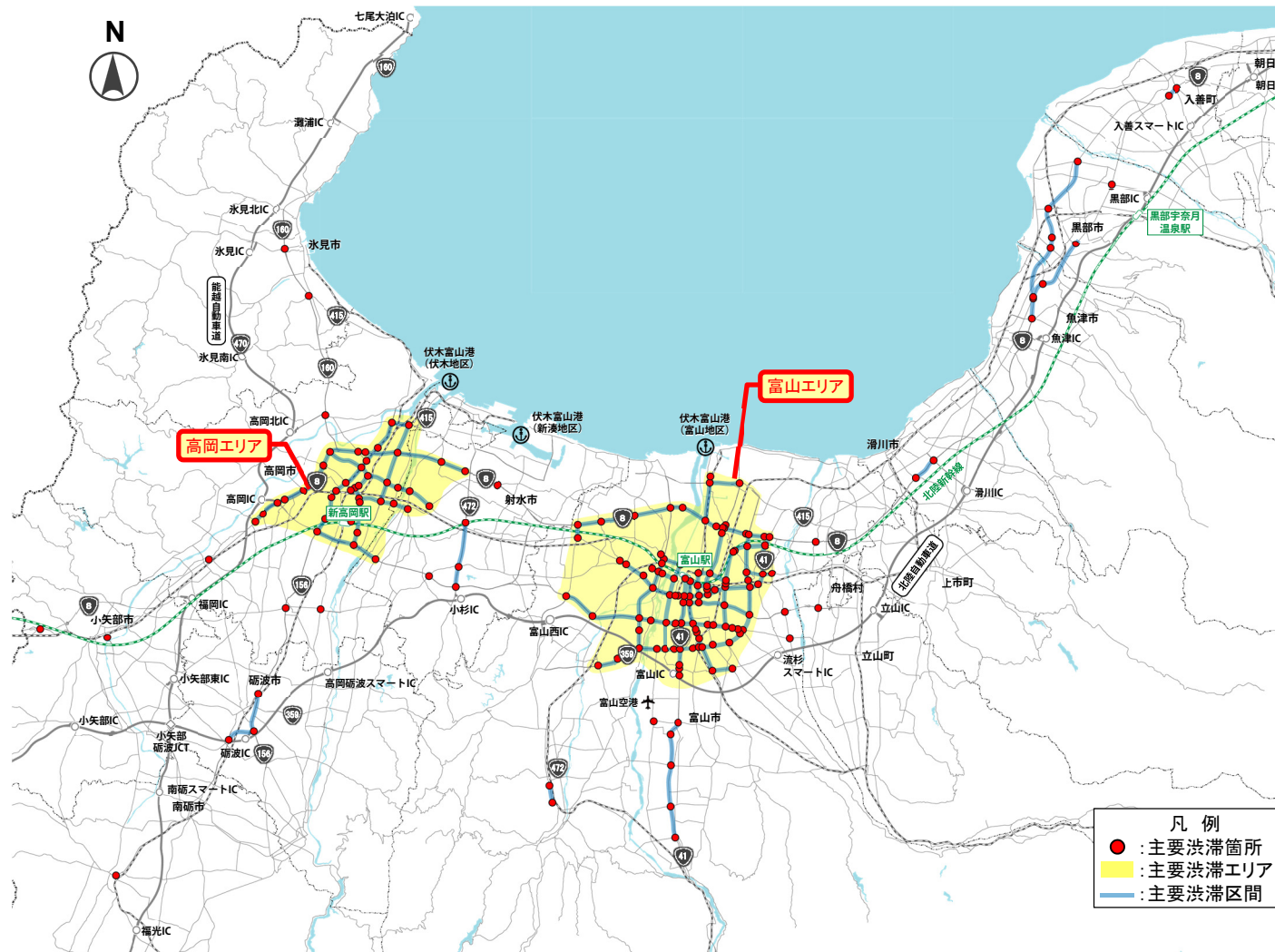
■ 関連施策の紹介

- ・ 国道359号砺波東バイパス全線開通
- ・ 国道8号江口^{えぐち}交差点の渋滞・事故状況
- ・ 能越自動車道の交通状況
- ・ 国道8号四屋^{よつや}交差点の渋滞対策

1. これまでの検討経緯

(2) 主要渋滞箇所の指定状況

- 富山県内の主要渋滞箇所は、令和元年7月の時点で182箇所を指定(前回検討委員会で更新)。
- 主要渋滞箇所は、富山エリア・高岡エリアを中心に多数存在している。



令和元年度時点 指定状況

国道・県道・市道

【渋滞多発】

○渋滞損失が多い、または
平日ピーク時における旅行
速度20km/h以下の箇所

80箇所

【特定日に混雑】

○休日または冬期における速
度低下箇所

60箇所

【パブコメによる追加】

42箇所

主要渋滞箇所総数: 182箇所

【主要渋滞箇所 追加・解除の経緯】

平成24年度: 189箇所特定

平成29年度: 12箇所解除 7箇所追加 計184箇所

令和元年度: 4箇所解除 2箇所追加 計182箇所

【主要渋滞エリア】

主要渋滞箇所や区間が面的に広がっており、複数路線に
跨り主要渋滞箇所を含む区域

【主要渋滞区間】

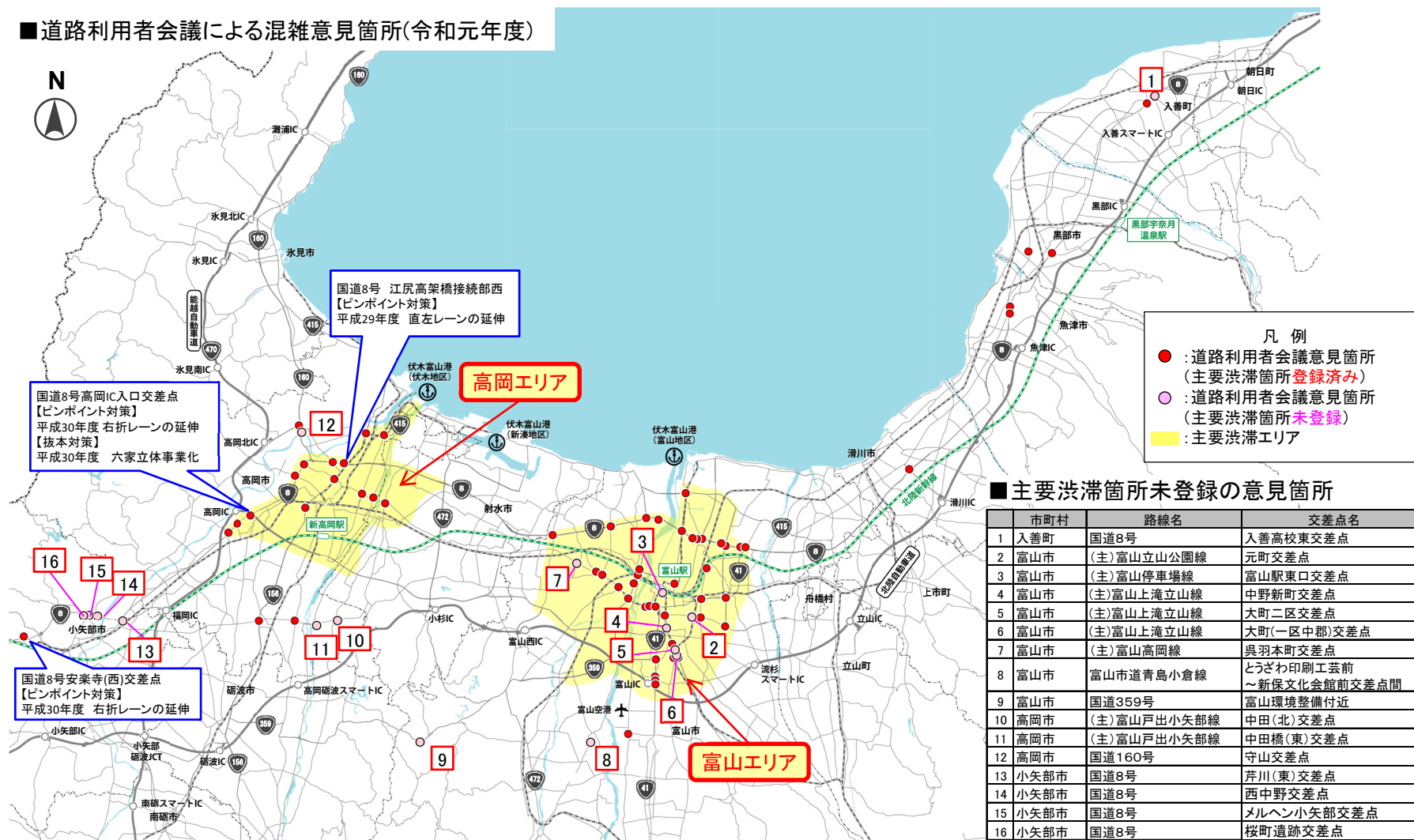
交差点が連坦するなど、速度低下箇所が連続してお
り、複数の主要渋滞箇所を含む区間

1. これまでの検討経緯

(3)道路利用者会議による混雑意見箇所

- 道路利用者会議より寄せられた混雑意見箇所は、富山エリア・高岡エリアに集中。
- 過年度までに3箇所でピンポイント渋滞対策(速攻対策)を実施済み。
- 主要渋滞箇所未登録の箇所についても、データ分析・現地確認による検証を引き続き実施する予定。

■道路利用者会議による混雑意見箇所(令和元年度)



2. 関連施策の紹介 ①国道359号砺波東バイパス「全線開通」

(1)事業概要

- 国道359号砺波東バイパスは、砺波市^{せりだに}芹谷^{たかんど}～高道における道路幅員狭隘区間の解消、路肩堆雪による冬期交通障害の解消、観光支援、物流の効率化を目的とした直轄権限代行事業である。
- 平成21年度までに砺波市^{らんじょう}頼成～高道が部分開通、令和元年12月に砺波市芹谷～頼成が完成し全線が開通した。

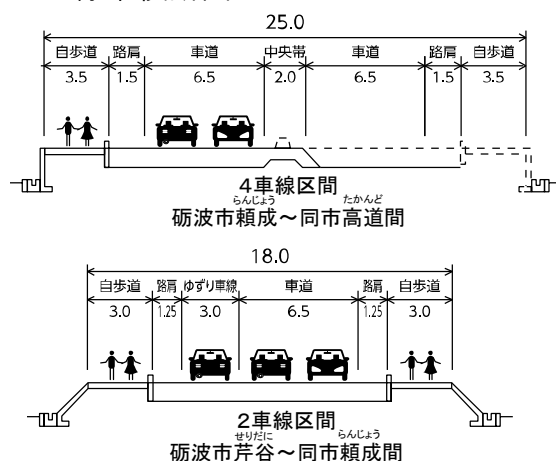
《位置図》



《事業概要》

事業名	国道359号 砺波東バイパス
事業年次	平成9年～令和元年
起点～終点	砺波市芹谷～砺波市高道
延長	6.1km
道路の区分	第3種第2級
設計速度	60km/h

《標準横断図》



開通式(R1. 12. 7)



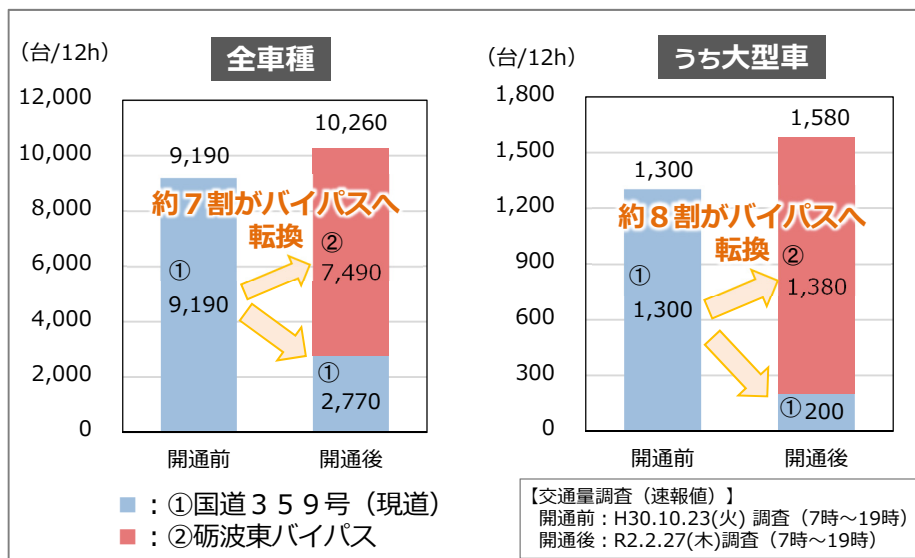
今回開通区間
(頼成地先から富山市方面望む)

2. 関連施策の紹介 ①国道359号砺波東バイパス「全線開通」

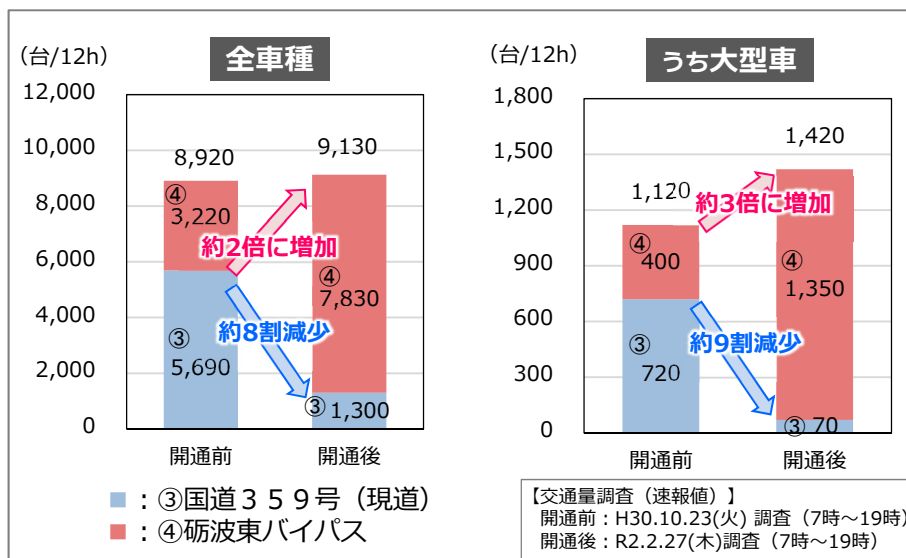
(2)交通状況の変化(速報)

- 今回開通区間において、国道359号(現道)の交通量の約7割(うち大型車は約8割)が砺波東バイパスへ転換。
- 砺波東バイパスの既開通区間の交通量は、開通前と比べて約2倍に増加し、国道359号(現道)の大型車交通量は約9割減少。
- 交通の転換により、国道359号(現道)の冬期交通障害の解消及び通学路の安全性向上が期待される。

■今回開通区間の交通状況(①と②の比較)



■既開通区間の交通状況(③と④の比較)



凡 例	
---	： 暫定2車線開通区間
---	： 今回開通区間
...	： 国道359号(現道)
① ②	： 交通量調査位置 (今回開通区間)
③ ④	： 交通量調査位置 (バイパス代表地点)



2. 関連施策の紹介 ①国道359号砺波東バイパス「全線開通」

■冬期交通障害の解消

- ・国道359号(現道)の冬期交通状況
(砺波東バイパス開通前後の比較)

開通前



路肩が狭く、積雪により大型車のすれ違いが困難な状況

開通後



大型車がバイパスへ転換したことで、冬期の交通障害が解消

- ・砺波東バイパス(今回開通区間)の冬期交通状況



砺波市内の物流企業

- ・バイパスが開通し、富山方面のアクセスが非常に良くなりました。
- ・道路も広く整備され、今までよりも、天候や歩行者に気を取られることが少なくなり、快適に運転できるようになりました。

R2.2.25 ヒアリング調査



■通学路の安全性向上

- ・国道359号(現道)の通学状況



地元小学校の声

- ・大型車がバイパスに転換したことで、児童が冬でも安全に通学できるようになりました。

R2.2.4 ヒアリング調査



- ・砺波東バイパス(今回開通区間)の通学状況



地元中学校の声

- ・自転車で通学している生徒が、今まで使っていた坂道よりも勾配が緩くなり、安全に通学できるようになったと喜んでいます。

R2.2.4 ヒアリング調査



2. 関連施策の紹介 ②国道8号江口交差点「渋滞・事故状況」

- 国道8号江口交差点は、隣接する江口南交差点と共に主要渋滞箇所及び事故危険箇所に指定されている。
- これまで区画線や案内標識など対策を実施しているが、渋滞・事故の解消には至っていない。
- 今年度交通状況調査を実施し状況を把握、渋滞・事故両方の問題解決に向け、抜本対策を検討中。

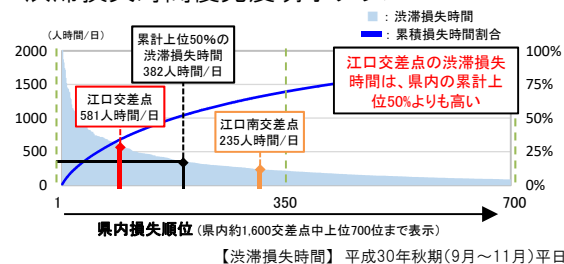
《広域図》



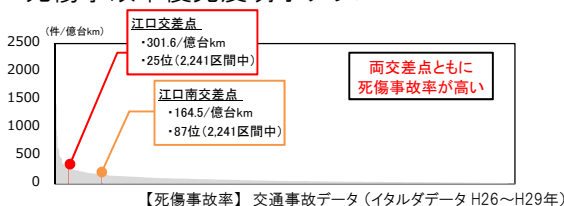
事業経緯

- ① 平成27年3月 入善黒部バイパス全線供用
- ② 平成28年3月 ドットライン+案内路面標示設置
- ③ 平成29年7月 案内標識連携のカラーライン設置
- ④ 平成30年8月 (一)魚津入善線に左折車線設置

《渋滞損失時間優先度明示グラフ》

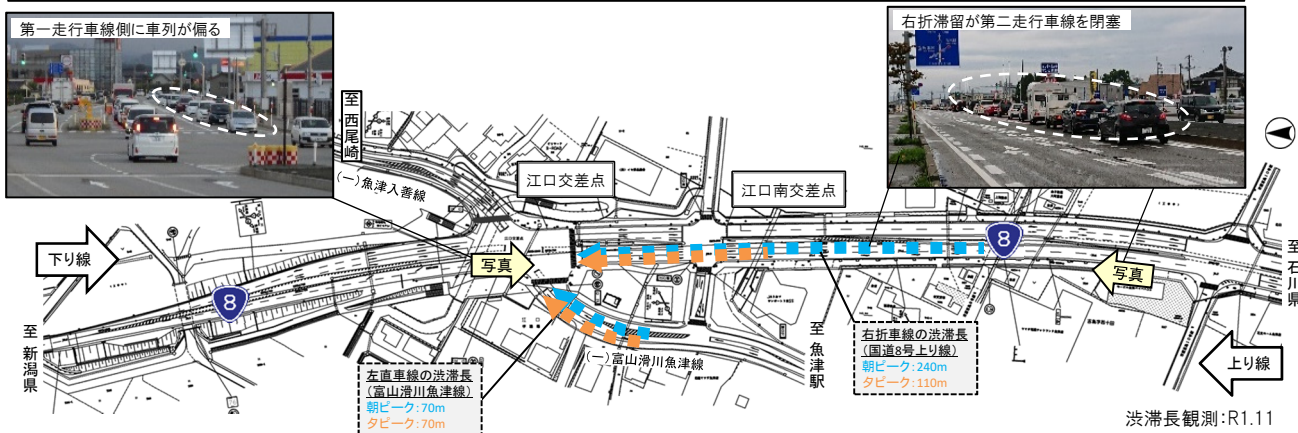


《死傷事故率優先度明示グラフ》



■ 渋滞発生状況

- ・江口交差点は主・従道路ともに交通量が多く、朝夕ピークを中心に渋滞が発生。
- ・8号(石川方面)から県道(西尾崎方面)への右折車の滞留が多く、先詰まりにより江口南交差点でも渋滞している。
- ・富山滑川魚津線においても魚津駅方面からの直進車が多く、渋滞が発生している。



■ 交通事故発生状況

- ・江口交差点では特に追突事故及び右直事故が多い。



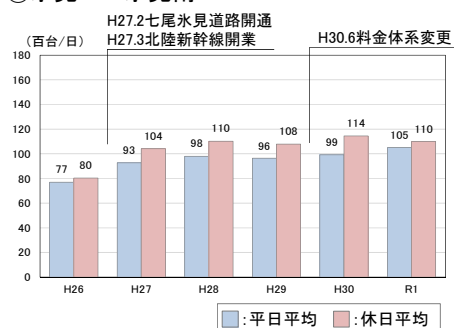
事故発生状況: 入善黒部バイパス供用後の事故データ H27.3～H29.12

2. 関連施策の紹介 ③能越自動車道「交通状況」

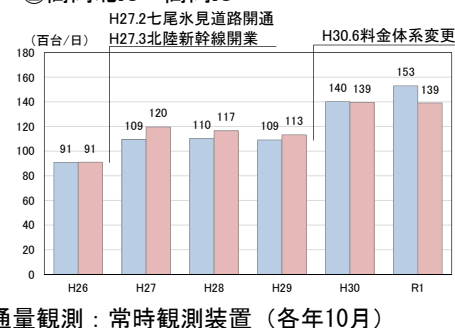
(1)交通量の推移

- 高岡IC前後は、料金体系変更以降、引き続き交通量が増加傾向。
- 氷見IC前後は、約1万台／日で推移しており大きな増減なし。
- 隣接区間である東海北陸自動車道は、4車線化の優先整備区間に指定されるなど(R1. 9)、今後の周辺交通環境の変化が見込まれるため、引き続き交通状況について分析していく。

①氷見IC～氷見南IC



②高岡北IC～高岡IC



交通量観測：常時観測装置（各年10月）

(2)事故対策の実施

- 高岡IC以北の暫定2車線区間において、重大事故防止を目的として、ワイヤーロープ式防護柵を設置(R1. 12)。
- 今年1月に防護柵への衝突事故が発生したが、防護柵により反対車線への飛び出しを防ぎ、重大事故を防止した。



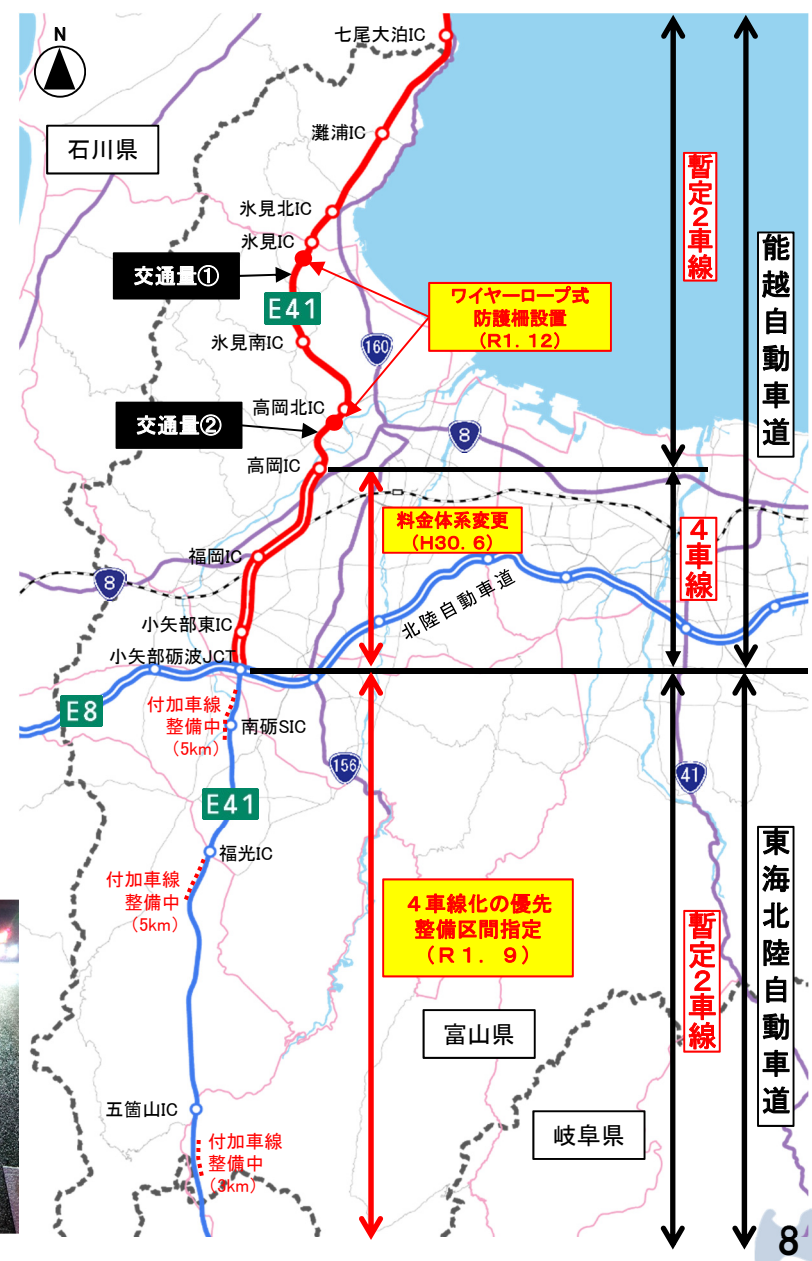
ワイヤーロープ式防護柵設置状況



事故発生状況



■ 位置図



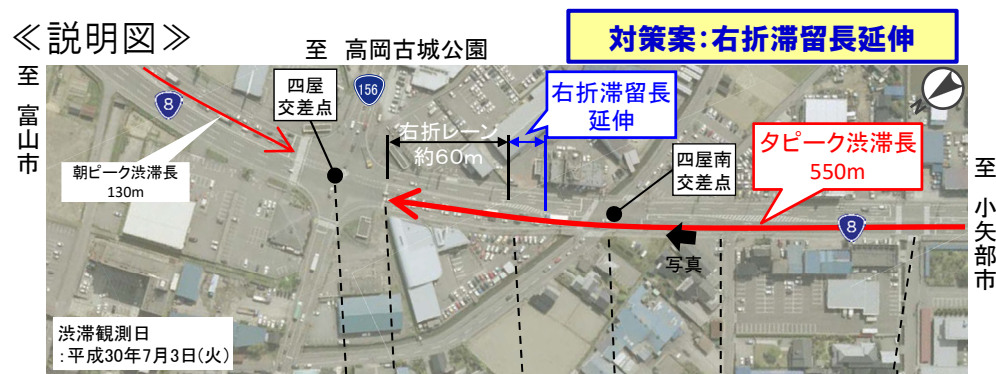
2. 関連施策の紹介 ④国道8号四屋交差点 「ピンポイント渋滞対策」

- 道路利用者会議による混雑意見箇所である四屋交差点において、渋滞対策として右折レーンの延伸を予定。
- 令和2年3月までに対策予定であり、その後、効果等を検証していく。(次回委員会において報告予定)

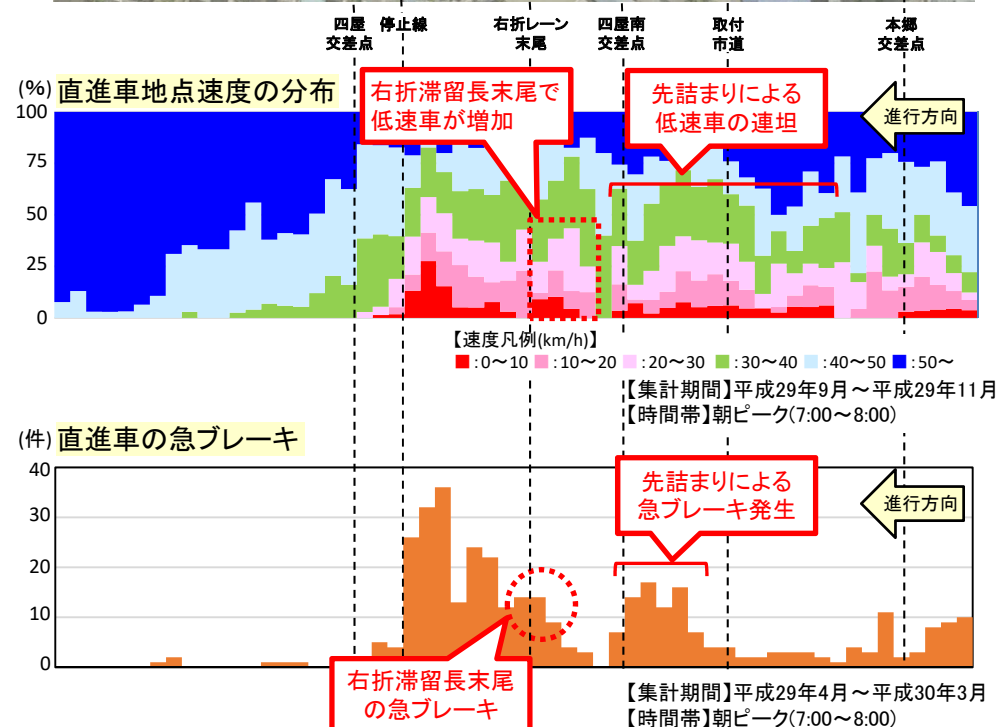
《位置図》



《説明図》



《広域図》



4. 今後の進め方について

■ 今後の検討委員会の進め方

